※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１７

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	（学）福祉実習	単位数	１～２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○これから地域社会で生活されている人々の「ふだんのくらしのしあわせ」について、みなさんと一緒に考えていきましょう。
・夏季休業期間中等を活用して自分の興味や関心のある福祉分野（児童・障がい・高齢者など）についてボランティア実習に参加します。

２　学習の到達目標

実技・実習を通して福祉の実際を知り、体験を通して実用的な知識・技術を身に着け、他者と交流することによって福祉に必要な資質を育成することを目標とする。
実習の準備や実習後の報告会に主体的に取り組むことができる。
（１）介護及び支援等の実践について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身につける。
（２）介護及び支援等の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
（３）健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	１）実習に必要な基本的な知識について理解し、身に着けている。 ２）実習の目的や計画を適切に立てることができる。 ３）適切な実習報告ができる	１）実習における各自の課題を明確し、解決を図ることができる。 ２）実習先の方々との交流を通して、その立場になって考えることができる。	１）傾聴・受容・共感の態度実習に生かし、自尊感情を高めている。 ２）卒業後の進路にむけた意識づけや、インクルーシブな地域づくりの主体育成がなされている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	福祉実習について	実習ガイダンス ・1 次希望調査の実施 ・2 次希望調査の実施 ・第 1 回オリエンテーション ・第 2 回オリエンテーション 第 3 回オリエンテーション(実習先) 第 4 回オリエンテーション	a. 福祉実習における主な学習内容と目標を理解する。 a. 今年度の実習の意義と目的を理解する。 b. 実習内容を理解し、実習の目標を考える。 b. 実習計画を立案する。	調査用紙 実習日誌	実習日誌	
夏季休業中		実習	a. 支援方法に学び、理解している。 b. コミュニケーションスキルを豊かに表現することができる。福祉の当事者との交流を通して、当事者の世界について考えることができる。 ｃ．傾聴・受容・共感の態度を身に着け、自尊感情を高めている。	演習 実習日誌	演習 実習日誌	演習 実習日誌
2学期		お礼状作成 実習報告	a. 個別・集団支援について学び、基本的な姿勢を身につけている。 b. 実習で学んだことを発表し、体験の共有を図る。 c. 卒業後の進路にむけた意識づけや、インクルーシブな地域づくりの主体育成がなされている。	お礼状 実習日誌	実習日誌	実習日誌

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度